職業実践専門課程等の基本情報について

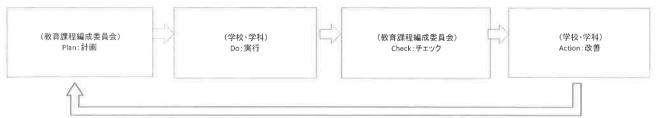
学校名		165.0	[認可年月日	18	長名			所在地			
福岡医健・スポーツ	専門学校	平点	戊14年4月1日	古谷	野潔	(住所)	312-0032 福岡県福岡市博多区	石城町7番30号			
設置者名		设立	2認可年月日	代表	者名		092-262-2119	所在地			
学校法人 滋慶	学園	昭和	58年12月23日	日	邦彦		134-0084 東京都江戸川区東葛	西6丁目16番2号			
分野	4	忍定課程名		認定學科	g.	(電話)	03-5878-3311 計級定年度	高度専門士認定	Ser ste		F門課程認定年度
医療		療専門課程		救急救命公務	7.7.	02110	19(2007)年度	回及号门上66尺。	+15t		6(2014)年度
学科の目的		う救急現場 プロを養成				かな知識と技	術は勿論のこと、幅度	い教養と豊かな人間	間性を備え		
学科の特徴 (主な教育内容、取 得可能な資格 等)		救命士国家		し、病院前救護(こ 士	プレホスピタ	タル〉のプロを	養成する。				
修業年限	昼夜	全課程の個	修了に必要な! 単位数	総授業時数又は総 【	調	横	演習	実習	実	験	実技
3	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	2,445 単位時間 単位	735	5 単位時間 単位	930 単位時間	1,125 単位時間 単位	0	単位時間単位	O 単位時間 単位
生徒総定員	生徒美	€員(A)	留学生数	±фидонь (B)	留学生書	引合(B/A)	中退率	- 年112		4-12	4世
120 人	116	,	0		0	%	10 %				
	■卒業者		1	21		,					
		望者数 (D)		13		Y					
	■就職者 ■地元就	数 (E) 職者数 (F)	- 1	13		숫					
	■就職率	(E/D)		100		96					
	■就職者	に占める地	元就職者の割								
	置在拿老!	こちめるが	裁者の割合(E	23 (C)		%					
		AND THE PERSON NAMED IN	wealthin (c	62		96					
就職等の状況	■進学者			4		Α					
	軸ての池										
	(合和			別する令和6年5月	1 日時点の情	片朝)					
	■主な就	職先、業界	等								
		F度卒業生)									
	消亂	方署 病院	等								
			等から第三者				#				
第二台 による			序から第三者 について任意記								
第三者による 学校評価	※有の場合				受審年月		評価	結果を掲載した ムページURL			
学校評価	※有の場合	、例えば以下			受審年月。		評価	結果を掲載した ムページURL			
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合	、例えば以下 評価団体:			受審年月。		評価	結果を掲載した ムページURL			
学校評価 当該学科の	※有の場合	、例えば以下 評価団体:	について任意		受審年月。		評価	結果を掲載した ムページURL			
第二名による 学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体:	について任意記 .ac.jp/nourse		受審年月;		評価	結果を掲載した ムページURL			
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken	について任意。 .ac.jp/nourse 算定)		受審年月		評価	統果を掲載した ムページURL	2, 790	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 段長素時数	について任意記 .ac.jp/nöurse 算定)	čiti √lifesaving∠		= 1	評価	結果を掲載した ムページUR L			
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 軽慢業時数	について任意記 ac.jp/course 算定) うち企業等と	a載 √lifesaving∠ 連携した実験・実習	習・実徒の授	= 1	評価	結果を掲載した ムページURL	180	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と	a載 //lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の授系	習・実徒の授	= 1	評価	結果を掲載した ムページURL	180	単位時間	
第二名による 学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/course 算定) うち企業等と うち企業等と うち必修授業	a載 //lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の侵奪 時数	習・実徒の授 集時数	受業時数	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2, 100	単位時間 単位時間 単位時間	
第二名による 学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/course 算定) うち企業等と うち企業等と うち必修授業	a載 //lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の授系	習・実徒の授 集時数	受業時数	評価水	統果を掲載した ムページURL	180 0 2, 100	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち必修授業	a載 //lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の侵奪 時数	習・実技の授 集時数 - 公修の実験	受業時数 **・実習・実持	評価水	統果を掲載した ムページURL	180 0 2, 100 180	単位時間 単位時間 単位時間	
ポニョー 学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち必修授業 う	ca散 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授乳 時敬 ち企業等と連携した	習・実徒の授 集時数 ※必修の実験 ※必修の演習	2業時数 も・実習・実打 の授業時数	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	※有の場合 https:/	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち必修授業 う	a戦 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授素 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	習・実徒の授 集時数 ※必修の実験 ※必修の演習	2業時数 も・実習・実打 の授業時数	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第二十年の 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状れか 企業等の実いずれれか	※有の場合 https:// (A:単位	、例えば以下 評価団体: /www.iken. 時間による 程長素時数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等	a戦 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授素 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	習・実徒の授 集時数 ※必修の実験 ※必修の演習	2業時数 も・実習・実打 の授業時数	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 評価団体: 「www.iken. 時間による 製板素時数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等	a戦 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授素 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	習・実徒の授 集時数 ※必修の実験 ※必修の演習	2業時数 も・実習・実打 の授業時数	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
# 学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が細則体: /www.iken. 時間による 軽検集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse (事定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a戦 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授素 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	習・実技の授 集時数 - 必修の実験 - 必必の実験 - ンシップの	受業時数 1・実習・実材 の授業時数)授業時数)	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
# 学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が解別体: /www.iken. 時間による 軽検集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a載 /lifesaving/ 連携した実験・実器 連携した演習の授系 ち企業等と連携した と連携したインター	習・実技の授 (集時数 と必修の実験 一ンシップの ・・実技の単	受業時数 1・実習・実材 の授業時数)授業時数)	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第二十年の 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施状ルか 企業等等の実にがれか	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a載 /lifesaving/ 連携した実験・実器 連携した演習の授系 ち企業等と連携した と連携したインター 連携した演習の単位	習・実技の授 (集時数 と必修の実験 一ンシップの ・・実技の単	受業時数 1・実習・実材 の授業時数)授業時数)	評価水	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
# 学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a載 /lifesaving/ 連携した実験・実器 連携した演習の授系 ち企業等と連携した と連携したインター 連携した演習の単位 数数	習・実技の授 (集時数 と必修の実験 一ンシップの 『・実技の単	2業時数 ま・実習・実技 の授業時数)授業時数)	での授業特数	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 世 位 し 世 し し し 世 上 世 位 し 世 生 し 世 生 世 位 し 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世	
# 当該学科の # 当該学科の # 一	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/dourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a載 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授系 時数 ち企業等と連携した と連携した有習の 連携した演習の 連携した 連携した 変数 を変更を を	習・実技の侵 除時数 必必修の実験 ラーンシップの 音・実技の単 1数 必修の実験	受業時数 (・実習・実材の授業時数) (の授業時数) (の授業時数)	での授業特数	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
# 学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/dourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a載 /lifesaving/ 連携した実験・実器 連携した演習の授系 ち企業等と連携した と連携したインター 連携した演習の単位 数数	習・実技の侵 除時数 必必修の実験 ラーンシップの 音・実技の単 1数 必修の実験	受業時数 (・実習・実材の授業時数) (の授業時数) (の授業時数)	での授業特数	結果を掲載した	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 世 位 し 世 し し し 世 上 世 位 し 世 生 し 世 生 世 位 し 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世 生 世	
第二字 を	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a載 //lifesaving/ 連携した実験・実置 連携した演習の授系 時数 ち企業等と連携した と連携した有習の 連携した演習の 連携した 連携した 変数 を変更を を	習・実技の授 集時数 と必修の実験 と必修の演習 コンシップの 音・実技の単 な必修の実験 な必修の実験	2業時数 ま・実習・実材 の授業時数)授業時数) は、実習・実材 の の の で の で の で の で の で の で の で の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	での授業特数	結果を掲載した	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間 単位 時間 単位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
第二字 を	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a戦 /lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の授業 ち企業等と連携した と連携した漢習の単位 数 ち企業等と連携した を連携した演習の単位 数 ち企業等と連携した た演習の単位 ない た変響と連携した を対した を対し を対し	習・実技の授 集時数 と必修の実験 と必修の演習 コンシップの 音・実技の単 な必修の実験 な必修の実験	2業時数 ま・実習・実材 の授業時数)授業時数) は、実習・実材 の の の で の で の で の で の で の で の で の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	での授業特数	結果を掲載した	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
第二年を 学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連連修した況 (A、Bいずれか	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が翻即体: がWW.iken. 時間による 軽模集時数 数による算 総単位数	ac.jp/nourse 算定) うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	a戦 /lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の授業 ち企業等と連携した と連携した漢習の単位 数 ち企業等と連携した を連携した演習の単位 数 ち企業等と連携した た演習の単位 ない た変響と連携した を対した を対し を対し	習・実技の授 集時数 と必修の実験 と必修の演習 コンシップの 音・実技の単 な必修の実験 な必修の実験	2業時数 ま・実習・実材 の授業時数)授業時数) は、実習・実材 の の の で の で の で の で の で の で の で の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	での授業特数	結果を掲載した ムページURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
# 当該学科の # 当該学科の # 一	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 /www.iken. 時間による 野性 等の の の の の の の の の の の の の の	ac.jp/course 算定) うち企業等と うち企業等等と うち企業等等と うち企業を 定) うち企企業等と うち企企業等と うち企金を に) のるなに のるな のるな のるな のるな のるな のるな のるな のるな	a戦 /lifesaving/ 連携した実験・実習 連携した演習の授業 ち企業等と連携した と連携した漢習の単位 数 ち企業等と連携した を連携した演習の単位 数 ち企業等と連携した た演習の単位 ない た変響と連携した を対した を対し を対し	g・実技の授 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のである。 は当該 のである。 に当該 のである。 に当該 のである。 にも数 のである。 にも数 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 のでる。 のでる。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。	受業時数 (・実習・実打の授業時数) (の授業時数) (の授業時数) (・実習・実打の単位数) (・実習・実力の単位数)	での授業特数	ANDURL	180 0 2,100 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 時間 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
# 当該学科の # 当該学科の # 一	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 が傾向体: が解析による 数による 数と単位数 のでを関連の でで関連に してでは、 ででは、 のでは、	ac.jp/course 算定) うち企業等と うち企業等等と うち企業等等と うち企業を 定) うち企企業等と うち企企業等と うち企金を に) のるなに のるな のるな のるな のるな のるな のるな のるな のるな	a載 /iifesaving/ 連携した実験・実習連携した演習の侵奪時数 ち企業等と連携した と連携した演習のに対ター 連携した実験・実話 連携した実験・実話 連携した実験・実話 を企業等と連携した と連携したた変勢 ち企業等と連携した と連携した を修ったインター を修ったがあり	g・実技の授 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のである。 は当該 のである。 に当該 のである。 に当該 のである。 にも数 のである。 にも数 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 のでる。 のでる。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。	受業時数 (・実習・実打の受無時数 (の受無時数) (事を学社 (事を学社	の授業時数	15)	180 0 2,100 180 0	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位 単位位 単位位位位位位位	
第二学校 当該学科の ホームページ URL と業等等の実いずれか に記入)	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 評価団体: 「www.iken. 時間による 整梗業時数 数による 算 数による 算 数単位数 で で の で の で の に の で の に に の に 。 に 。 に に に る に に に に る に に る に に る に に に に 。 に に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ac.jp/course 算定) うち企業等と うちを全業等と うち企業等等と うち企業等等と でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でする。 でするでは でする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでする。 でするでする。 でするでするでする。 でするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでする。 でするでするでするでする。 でするでするでするでする。 でするでするでするでする。 でするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするで	a載 //iifesaving/ 連携した実験・実電連携した演習の侵奪時数 ち企業等と連携した と連携した演習の単独 と連携した演習の単独 と連携した演習の単独 数 ち企業等と連携した と連携した を企業等と連携した を必ずると を修ってした を必ずることを 変数 をなる。	g・実技の授 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のである。 は当該 のである。 に当該 のである。 に当該 のである。 にも数 のである。 にも数 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 にも当 のである。 のでる。 のでる。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。	受業時数 (*・実習・実材 の受業時数 (**)	京の授業時数 の単位数	1号) 2号)	180 0 2,100 180 0	単単位時間 単単位的時間 単単位的時間 単単位位 単単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 位 単位位 位 は は は は は は は は は は は は は	
第二学校神師 当該学科のホームページ URL と業等をと通應施がれた。 に記入)	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 「www.iken. 時間による 乾を単位数 ででに ないている ないでする ないでは ないで	ac.jp/course 算定) うち企業等等と うちを企業等等と うちかな体 変素を 変素を なった。 。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 。 なった。 。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 な。 。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 。 なった。 。 なった。	a載 //iifesaving/ 連携した実験・実電連携した演習の優秀 連携した演習の優秀 を業等と連携した を選携した演習のと 連携した演習のと 連携した演習のと 連携した を選携した を変勢と連携した を変勢と連携した を変勢と を変勢と を必ずるした を必ずるした を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述えると を述えると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述ると を必ずると を述ると を述ると	g・実技の侵 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のでは、 は当数 のでは、 は当数 のでは、	を実際・実材の で表別である。 で表別である。 で表別である。 で表別である。 で表別である。 で表別である。 で表別である。 で表別である。 で表別である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	京の授業時数 の授業時数 の単位数	1号) 2号)	180 0 2,100 180 0 0	學學學學學學學學學學學學 學學學學學學學學學學學	
第二学校評価 当該学科のホームページ URL と楽等等のした況か に記入)	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 「www.iken. 時間による ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする な	(うち企業等と) (うち企業等 等と) (うち企業等等と) (うち企業等等と) (うち企業等等と) (うち企業等等と) (うち企業等等と) (うち企業等をと) (うち企業等と) (うち企業を) (うちんを) (うちんを) (うちんを) (うちんを) (うたんを) (うちんを) (うちんを) (うたんを) (うちんを) (うちんを) (うちんを) (うたんを) (うたんを) (うたんを) (うちんを) (うたんを)	a載 //iifesaving/ 連携した実験・実電連携した演習の優秀 連携した演習の優秀 を業等と連携した を選携した演習のと 連携した演習のと 連携した演習のと 連携した を選携した を変勢と連携した を変勢と連携した を変勢と を変勢と を必ずるした を必ずるした を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述えると を述えると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述ると を必ずると を述ると を述ると	g・実技の侵 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のでは、 は当数 のでは、 は当数 のでは、	受撃時数 (の授業時数) (の授業時数) (の授業時数) (の提集時数) (の提集時数) (の提集時数) (の単位数) (の単位数)	(の授業時数 の授業時数 の単位数 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号)	180 0 2,100 180 0 0	學學學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學	
第二学校 当該学科のホームで 当該学科の・ホームRL と業等等ののように を業等等ののずれか に記入) を集団へ、に記入)	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 「www.iken. 時間による 乾を単位数 ででに ないている ないでする ないでは ないで	ac.jp/course 算定) うち企業等と うちな企業等と うちな企業を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変	a載 //iifesaving/ 連携した実験・実電連携した演習の優秀 連携した演習の優秀 を業等と連携した を選携した演習のと 連携した演習のと 連携した演習のと 連携した を選携した を変勢と連携した を変勢と連携した を変勢と を変勢と を必ずるした を必ずるした を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述えると を述えると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述ると を必ずると を述ると を述ると	g・実技の侵 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のでは、 は当数 のでは、 は当数 のでは、	受撃時数 (の授業時数) (の授業時数) (の授業時数) (の提集時数) (の提集時数) (の提集時数) (の単位数) (の単位数)	京の授業時数 の授業時数 の単位数	1号) 2号) 3号)	180 0 2,100 180 0 0	學學學學學學學學學學學學 學學學學學學學學學學學	
第二年の 学校評価 当該学科のホームで URL 企業等等のいる。 (A、に記入) に記入)	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下 「www.iken. 時間による ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする な	ac.jp/course 算定) うち企業等と うちな企業等と うちな企業を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変	a載 //iifesaving/ 連携した実験・実電連携した演習の優秀 連携した演習の優秀 を業等と連携した を選携した演習のと 連携した演習のと 連携した演習のと 連携した を選携した を変勢と連携した を変勢と連携した を変勢と を変勢と を必ずるした を必ずるした を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述えると を述えると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述ると を必ずると を述ると を述ると	g・実技の侵 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のでは、 は当数 のでは、 は当数 のでは、	受撃時数 (の授業時数) (の授業時数) (の授業時数) (の提集時数) (の提集時数) (の提集時数) (の単位数) (の単位数)	(の授業時数 の授業時数 の単位数 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号)	180 0 2,100 180 0 0	學學學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學	
第二年の 学校評価 当該学科のホームで URL 企業等等のいる。 (A、に記入) に記入)	※有の場合https://(A:単位(B:単位	、例えば以下: /www.iken. 時間による 数による 類や性性 のでででは でで関 でで関 でででででいる のでは でででいる のでは ででいる のでは ででいる のでは ででいる のでは のでいる のでは のでいる のでは のでいる のでは のでいる のでは のでいる のでは のでいる の	ac.jp/course 算定) うち企業等と うちな企業等と うちな企業を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変変を 変	a載 //iifesaving/ 連携した実験・実電連携した演習の優秀 連携した演習の優秀 を業等と連携した を選携した演習のと 連携した演習のと 連携した演習のと 連携した を選携した を変勢と連携した を変勢と連携した を変勢と を変勢と を必ずるした を必ずるした を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述えると を述えると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述ると を必ずると を述ると を述ると	g・実技の侵 東時数 必修の実験習 のシッププの よるがのの演プの よるがあります。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のをある。 よう数 のでは、 は当数 のでは、 は当数 のでは、	受撃時数 (の授業時数) (の授業時数) (の授業時数) (の提集時数) (の提集時数) (の提集時数) (の単位数) (の単位数)	(の授業時数 の授業時数 の単位数 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号)	180 0 2,100 180 0 0	學學與 中華	
第二学校 当該学科のホームで 当該学科の・ホームRL と業等等ののように を業等等ののずれか に記入) を集団へ、に記入)	※有の場合 https:// (A:単位	、例えば以下 「www.iken. 「時間による ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする な	(うち企業等とと) (うち企業等とと) (うち企業等と) (うち企業等と) (うち企業等と) (うち企業 () () () () () () () () () () () () ()	a載 Alifesaving/ 連携した実験・実習 連携した実際の例 を実際のの主連携した。 連携した実際のの主連携したた。 連携したた。 連携したた。 連携したた。 連携したた。 連携したた。 連携したた。 連携したた。 を変素をしたがあり を必ずると を述ると を必ずると を必ずると を必ずると を必ずると を述ると を述えると を述ると を述ると を述ると を述ると を述ると を述ると を述ると を述	留・実技の侵 を必必がの実験である。 を必必がの実験である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	受業時数 (の授業時数) (の授業時数) (の授業時数) (の提集時数) (の提集時数) (の提集時数) (専修学社 (専修学社 (専修学社	(の授業時数 の授業時数 の単位数 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第 な設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号) 4号) 5号)	180 0 2,100 180 0 0	學學與 中華	

- 1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。 関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が ・ 参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に 検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュ ラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の 我有能は200m間がは、生きない「一品にはついてお月は生間の安良なについて、可能してリーラをしていていていた。生代女殿に訪いて側のを引っていて、安良ない 適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。(以下図により、編成意思決定の過程を示



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種別
河野 寛幸	一般社団法人 福岡博多トレーニングセンター 理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	①
橋本 修二	社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院 医療連携室 主幹	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	3
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	-
河口 青児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	122
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	==
川野 剛	福岡医健・スポーツ専門学校 救急救命公務員科 学科長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	<u>~</u>

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

- 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対し ては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

第1回 令和6年5月17日 15:30~17:00

第2回 令和7年1月24日 13:00~15:00 (予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

入学者の学力や学習習慣、モチベーションに個人差が大きく、個々の学生にあったオーダーメイドの学習方法の確立が必要との指摘があったため、通常授業とは別 に、補習・補講・グループ学習・個別指導などを適時適切に取り入れた。

また、公務員対策の強化が必要との意見があり、補講及び春季講座・夏季講座・冬季講座などの充実や面接指導を特に強化すべく実施を図っている。 それから、病院実習において介助技術が不足している旨の指摘を頂いたため、病院実習前に看護科教員による「病院実習前実習」の実施した

学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーションカの強化」「仕事に対する身構え・気情え・心構えといったブロ意識の確立」「社会的人 格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、授 業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検 討・環境整備に取り組んでいる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教 育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常 勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に 授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は 常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者 の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の 連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
秋志处世央白IV (左院内宝罗)	(4に該当するものを	実際の医療現場を通じて実践的な知識・技 術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関 において、救急救命士として対応すること ができるようになる。	福岡徳洲会病院、福岡済生会福岡総合病院、九州医療センター、福岡和白病院、佐賀医療センター好生館 以上5施設

3 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的と して、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員 を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:第41回 福岡救急医学会

催:福岡救急医学会(大会長 社会医療法人 大成会 福岡記念病院)

実施日:令和5年11月26日

参加者:救急救命公務員科専任教員2名

内 容:地域が求める最適な救急医療を目指して

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度 全国救急救命士教育施設協議会

主 催:一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 実施日:令和5年8月17·18日

参加者:救急救命公務員科専任教員1名

内 容: 理事会・社員総会・教員研修会(実習授業における学生の評価方法・教職員間の情報共有・コミュニケーション手法)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:第28回 日本救急医学会九州地方会

催:日本救急医学会 九州地方会

実施日:令和6年6月14・15日

参加者: 救急救命公務員科専任教員1名

内 容: 救急・災害医療の近未来を考える

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2024年度 全国救急救命士教育施設協議会

催:全国救急救命士教育施設協議会

実施日: 令和6年8月22-23日

参加者: 救急救命公務員科専任教員2名参加予定

容: 救急救命士に関する法規・制度 教育における指導技術と情報共有

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校 の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織 、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを 方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	教育理念·目的·育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献·地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

運営部長を始め、学校長、事務局長、教務部長、学科長等で共有し、全スタッフに周知して、多岐に渡る学校運営の改善に努めている。特に、日々の学校運営の中で 直ちに改善・対応が可能なことは、学校長の指導の下、学校全体に係る事案は事務局長・教務部長が中心となり速やかに改善に取り組み、学科に係ることは学科長が 中心となり速やかに改善を図っている。また、改善に新たな予算確保が必要な案件は事務局長が中心となって次年度に向けて予算組を行い、改善を図っている。加え て、学則変更等が必要な案件は、学校長の指導の下、教務部長が中心となって学則変更手続きを行いながら改善を図っている。

学校関係者評価委員会を開催し、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って実施した昨年度の学校自己点検報告書について、当校に 関係の深い13名の学校関係者評価委員に評価していただき、各項目について概ね「優れている」との評価を頂いた。また「入学定員の充足」「中途退学者の低減」「地域との交流を更に深める」など多くのご意見を頂いた。

学校のリーダー会議、学科会議、全体会議などでこれらの意見を共有し、検討・環境整備に取り組んでいきます。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
村田 栄治	村田整骨院 院長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要 信義	要鍼灸院 院長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本 修二	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 医療連携室 主幹	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(救急救命公務員科
福田 智	医療法人 せと山荘クリニック 統括部長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科
丸田 淳司	医療法人誠和会 牟田病院 医療部門科長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科
案西 浩平	医療法人社団 桜香 あんざい歯科クリニック 理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科
平野 千恵美	医療法人相生会 宮田病院 看護師長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(看護科
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(スポーツ科学科
中西 祐介	株式会社サンドラッグ 人事部採用課主任	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科
谷口 貴隆	スポーツ科学科 卒業生	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	卒 業 生 代 表
冨崎 尚美	在校生(鍼灸科3年)保護者	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	保 護 者 代 表
清輔 正孝	福岡県立香椎高等学校 校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	高 等 学 校 関 係 者
戎﨑 淳一	福岡市博多区大浜公民館 館長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	地域関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.iken.ac.jp/school/public-info/

公表時期:令和6年5月31日

- 5 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名 所在地 連絡先 学校の沿革 建学の理念 学校安全関連 保健対策
(2)各学科等の教育	受人方法 定員 在校生数 カリキュラム 学年暦 各学科教育目標 教科目標 シラバス 卒業進級判定基準 取得する称号
(3)教職員	教職員数 学校組織図 教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学連携教育 キャリア教育ロードマップ 業界研修 キャリアセンター 就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介 海外実学研修 部活動 学友会活動 産業界・行政・地域との連携
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援 就職支援 健康支援 学費相談 進路変更支援 支援機関 支援制度 学生寮
(7)学生納付金·修学支援	学費一覧 学費サポート(奨学金・教育ローン案内・学費分割納入制度等)
(8)学校の財務	法人財務資料
(9)学校評価	自己点検・自己評価と学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生支援 海外研修実績
(11)その他	社会・地域貢献(ボランティア活動)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ 広報誌等の刊行物・その他(

))

URL: https://www.iken.ac.jp/

公表時期:随時

授業科目等の概要

	_	京専門 分類		星 教急教命公務員科)					授業方法				所	教		
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	0			情報科学	Excel・Word・PowerPointの基本操作を学び、文章作成や表計算・プレゼンテーション等に必要な資料作成ができるようになる。	1前	30	2		0					0	
2	0			英会話・医学英語	医療従事者として必要とされる日常英会話の基礎を学び、グローバル化している現代社会において順応な対応ができるようになる。	1 前	30	2		0					0	
3	0			生命・医学倫理	生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる 出来事を学び、倫理的基盤を身につけ、医療人として対応す ることができるようになる。	1 前	15	1	0					0		
4	0			臨床心理学	心理学の基礎的知識や臨床的知識を学び、教急救命士として 現場で適切な対応ができるようになる。	1 前	15	1	0						0	
5	0			コミュニケーション論	医療従事者として必要なコミュニケーションについて学び、 社会で必要とされるルールやマナーを理解し、就職について 主体性・計画性を持って行動することができるようになる。	1 前	30	2		0					0	
6	0			解剖生理学	人体を構成する要素や人体の各器官の位置関係、人体の構造 と機能について系統的に説明できる。	1 前	90	6	0					0		
7	0			病理学	炎症と感染、循環・代謝障害、退行性・進行性病変、先天性 異常等を学び、各疾病の成り立ちと回復の過程について説明 できる。	1 後	30	2	0					0		
8	0			薬理学	各種薬剤の薬理作用や適応、生体に及ぼす影響について学び、救急現場において、傷病者の有用な情報源として判断し、適切な現場活動ができるようになる。	1 後	30	2	0					0		
9	0			公衆衛生学	近年の少子高齢化や保健所の役割、学校・母子保健、精神保 健福祉等について学び、保健医療制度の仕組みと現状ついて 説明できる。	1 後	15	1	0					0		
10	0			社会保障。社会福祉	社会保障と社会福祉の理念や医療・介護・年金保険制度、生活保護等について学び、現在の社会保障と社会福祉を支える 仕組みについて説明できる。	1 後	15	į.	0					0		
11	0			病院前医療機論 [救急・災害・病院前医療体制と、消防機関における救急活動 の流れを学び、救急現場において適切な病院選定や救急活動 ができるようになる。	1 前	30	2	0						0	
12	0			病院前医療概論Ⅱ	病院前救護活動における救急救命士の役割と責任について学び、救急救命士として法令及び安全管理を遵守した現場活動ができるようになる。	1 前	30	2	0						0	
13	0			教急教命処置概論 I	病態・疾病によって全身や局所に認める特徴的な症状について学び、救急現場において傷病者の適切な観察と緊急度・重症度判別ができるようになる。	1 後	30	2	0						0	
14	0			教急教命処置概論 Ⅱ	救急現場で使用する資器材やその資器材を用いて救急救命士 が行う観察・蘇生法・処置について学び、適切な資器材選定 と傷病者への対応ができるようになる。	1 後	45	3	0						0	
15	0			救急病態生理学 I	呼吸・循環不全・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。	2 前	30	2	0						0	
16	0			救急病態生理学Ⅱ	神経系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場にお いて適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。	2 前	45	3	0						0	
17	0			枚急症候学	各種疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な 観察・評価・救急処置ができるようになる。	2後	45	3	0						0	
18	0			疾病救急医学Ⅰ	神経・呼吸・循環器系の主な疾患の発生機序、症状を学び、 救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるよう になる。	2 前	45	3	0						0	

32		0	総合基礎合計	教急教命士として必要な基礎的知識を総合的に学び、救急教命士国家試験の基礎的問題を解くことができるようになる。	3 前	345	23		0	136	即位一		
31		0	公務員講座(総合・面接)	公務員試験の教養試験を突破する知識を身につけ、面接試験 に必要な書類作成や礼法・作法、口頭試問に対する自己表現 ができるようになる。	3前	345	23		0		0	0	
30	0		総合教急医療	教急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命 士国家試験に必要な合格基準を突破できるようになる。	3 後	150	10		0		0		
29	0		救急処置実習Ⅳ(病院内実習)	実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、教急医療機関において、教急教命士として対応することができるようになる。	2後・3前	180	4			0		0	0
28	0		救急処置実習Ⅲ(総合手技)	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の教急現場での対応ができるようになる。	3 通	225	5			0	0		
27	0		救急処置実習Ⅱ(応用手技)	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の教急現場での対応ができるようになる。	2 通	360	8			0	0	0	
26	0		救急処置実習 I (基本手技)	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の教急現場での対応ができるようになる。	1 通	360	8			0	0		
25	0		環境障害	環境因子による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、環境因子が原因となる教急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。	2 後	15	j.	0			O		
24	0		急性中毒学	中番物質による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、中毒物質が原因となる教急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。	2 後	15	1	0			С		
23	0		外傷各論	各部位における外傷の受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等を学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。	2 前	60	4	0			С		
22	0		外傷総論	外傷についての傷病者の評価や受傷機転、発生機序、ショックを学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。	1 後	15	į,	0			С		
21	0		疾病救急医学Ⅳ	小児・高齢者・周産期・精神障害の特殊性とその発生機序、 症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応 ができるようになる。	2 後	45	3	0			С		
20	0		疾病救急医学Ⅲ	筋・骨格系、感染症の主な疾患の発生機序、症状を学び、救 急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるように なる。	2 後	30	2	0			С		
19	0		疾病救急医学Ⅱ	消化・泌尿・内分泌・血液・皮膚・感覚系の主な疾患の発生 機序や症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切 な対応ができるようになる。	2 前	45	3	0			С		

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件	当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目(不合格)が1科目以上あれば卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が続授業回数の3分の2未満の者は卒業できない。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。選択必修科目と自由選択科目を履修 し、各科目66.7%以上の出席し試験等による60点以上の評定で単位取得する。	1 学期の授業期間	15週

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法についてOを付し、その他の方法について△を付すこと。
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。